



2月11日付「伊勢新聞」によりますと、以前に本校のPTA教養講座等でもお世話になった「アトリエKako」代表の竹島愛佳さんが、2月10日～12日の間に、亀山市文化会館内の中央コミュニティセンターでガラスアートの作品展を開催されたとのこと。会場には、竹島さんとガラスアート教室の生徒さんらの作品計400点が並べられたそうですが、実は、会場の一角には、中部中の特別支援学級の生徒による作品、題して「つくえ守り～My神社～」も。それらの作品は「ガラスフュージング」という技法で制作されたもので、亀山市立南小学校の児童の作品と合わせて、鳥居の神社計50点余が展示されました。（「伊勢新聞」記事より）



児童・生徒のガラスアート作品～「ガラスフュージング」～2/11付「伊勢新聞」記事より

中部中の特別支援学級では、何年も前から竹島さんをゲストティーチャーに、ガラスアートに取り組んでいるのですが、今年は竹島さんから声をかけてもらい、教室展の中で、子どもたちの作品も展示しようということになりました。このような形で、生徒の日頃の頑張りが披露できることは、大変ありがたいことです。

新企画の『TEACHERS@中部中 リレーインタビュー』
11回目となる今回は、鈴木裕美子先生です。

---- 「鈴木」つながりて、鈴木教史先生からバトンが渡されました。ところで、3年生の担任ということで、今は色々忙しいと思いませんか？

鈴木 はい。今年の3年生は、みんな個性的で、学年目標通りの「楽しむ天才」です！

---- マジで、楽しそうですね。担当するクラスの3年A組はどんなクラスですか？

鈴木 すごく人懐っこくて、中学校3年生とは思えないくらいで、素直に何でも話をしに来てくれます。なので、卒業させたくない、卒業してほしくないんですよ！

---- わかりました。じゃあ、3年A組は全員留年ということで(笑)この学年は3年間持ち上がりなので、特別な思いとかあるのでは？

鈴木 そうですね、物事に向かう姿勢がきちんとしているなあと、とても評価しています。

---- 話はかわって、家庭科の先生なので・・・あえて聞きますが、料理とかはどうなんですか？得意料理とか。

鈴木 料理は好きです。得意料理は、から揚げで、前日からばっちり仕込みをします。

---- 聞いているだけで美味しそう！他に、趣味とか、好きなこととかはありますか？

鈴木 そうですね、動物が好きなので、ネコを2匹飼っています。この前も、家でDIYをやりにまして、キャットタワーを作りました。

---- それはすごいですね。あと、ゴルフをやるとかも聞いてますが。

鈴木 はい、ゴルフは父が好きだったので、一緒にやっていました。父が、私とゴルフコースを周りたいたいという思いがあったんですね。学生時代は、ゴルフ場でアルバイトもしていました。



鈴木裕美子先生

---- そうなんですか。そのお父さんは、昨年、今年と、中部中の花植えや中庭整備、2年生のキャリア教育「先輩に学ぶ」などでお世話になりました。とても仲良い親子に見えましたが。

鈴木 そうですね、父とはよく話をします。とても頼りがいがあるって尊敬しています。

---- そうやって、娘に言ってもらえるお父さんが、同じ娘を持つ身としては、うらやましい限りです。

鈴木 はい、ありがとうございます。

---- 最後に、卒業生となる3年生のみんなに、メッセージをお願いします。

鈴木 卒業は“ゴール”はありません。新たな“スタート”として旅立ってください！

---- では、どうもありがとうございました。

【インタビュー後記】

鈴木先生と話していると、楽しそうでうらやましいことばかり。料理、ゴルフ、お父さんのこと、そして、何よりクラス。その3年A組が、これまたうらやましい。

★次回は、柳川絢香先生を予定しています。

このリレーインタビューは、中部中学校に在籍する先生方にリレー形式でバトンを渡しインタビューしていくものです。だれにバトンが渡されていくのかお楽しみに!(^^)!



すずき ゆみこ
鈴木教史先生 ➡ 鈴木裕美子先生

お知らせ 『3年生を送る会』 2/22開催!

1・2年生が3年生の卒業を祝い 感謝の気持ちを送ります

※前半：教室（全クラス） 後半：3年生のみ体育館（1.2年生は下校）

1・2年生が3年生にお祝いと感謝の気持ちを込めて行う『3年生を送る会』ですが、コロナ禍の中でのイベント運営となるため、何度か企画を練り直すなどして、ようやく開催にこぎつけることができました。全校生徒が揃って…というわけにはいきませんが、1・2年生は精一杯準備を進めてきてくれましたので、3年生の皆さんには、ぜひ楽しんでもらいたいと思います。

例年、『3年生を送る会』は、ゲスト等のパフォーマンスを堪能してもらうことがメインの一つとなっています。今年は、「命の授業～今の幸せに気付くことから夢は広がる～」と題して、全国各地で講演活動をされ、TV出演をはじめ多くのメディアにも取り上げられてみえる、**腰塚勇人（こしづか はやと）**さんをお招きしてお話を聴く手はずとなっていました。ところが、新型コロナウイルス感染防止のため、ご本人に学校へお越しいただくことはかなわず、リモート出演という形での講演会となります。大変残念ではありますが、魂のこもった感動的なお話をしていただけと聞いていますので、心待ちにしたいと思います。



講演家 腰塚勇人

【腰塚勇人さんプロフィール】

1965年、神奈川県生まれ
元・中学校体育教師
元・養護学校教師
2002年3月1日、人生を大きく変える事故
スキーでの転倒で「首の骨」を折り、奇跡的に命は取り止めたものの、首から下がまったく動かなくなる。当時、医師からは「一生、寝たきりか、よくて車イス」の宣告、あまりの絶望に「自殺未遂」
その後、妻、両親、主治医、看護師、生徒、職場の同僚などの応援と励ましを受け奇跡的な回復力を発揮
「下半身と右半身の麻痺」など、身体に障がいを残しながらも、4カ月で現場に復帰
現在「命の授業」の講演家として、自らの経験を元に、「命の尊さ」「生きていることの素晴らしさ」「ドリー夢メーカーの大切さ」「命の喜ぶ生き方」を、全国の小学校、中学校、高校、そして一般の方々に伝える活動をしている。全国から1800講演を超える「命の授業」の講演依頼があり、開始から9年で「命の授業」を聞いたのは60万人超

3年生を送る会

おもなプログラム

1. 開会行事
2. 講演会～命の授業
3. 卒業記念品贈呈（学校、PTAより）
4. 3年生なら知ってる!?!～
Q極のQUIZ! IN Chubu J.H.S
5. 部活ビデオメッセージ
6. 思い出ビデオ

※腰塚勇人さんに関わる写真・プロフィール等は、『「命の授業」腰塚勇人オフィシャルサイト』より引用したものです。

※「講演会～命の授業」は、中部中学校制服取扱メーカーであるカンコー学生服さんの全面協力により実現したものです。